

「西日本看護専門学校生の実習が開催されました」

この実習は毎年、開催されていますが、今年も2年生15名が参加し、11月28日(金)から12月12日(金)までの2週間行われました。



「老年期の患者様を対象とした実習を行っています。患者様、指導者の方々をはじめとする沢山の人の感謝でいっぱいです。」

「日々の関りから看護の視点を広げられる実習となり成長に繋がりました」



また、患者さん対応の際は先輩看護師のアドバイスを一つ一つメモしたり、分からないことは直ぐに質問するなど、初々しくも緊張感ある実習を真剣に取り組んでいました。

労働人口の減少の中、看護・介護の希望者も減少傾向にあります。
西日本看護専門学校で学ぶことを決意した初心を忘れず、再来年、同じ職場、同じ業界でともに汗を流すものと期待させていただきます。

二週間、お疲れさまでした。



バイタル測定、身の回りの介助、一人ひとり異なる病状の患者さんの看護計画の策定等、幅広く看護業務の大半を経験いただきました。



日頃、学んだ知識とスキルを試す場ではありますが、本番であるためやはり実際の患者さん対応は緊張しているようでした。

